

高時川濁水にかかる調査結果

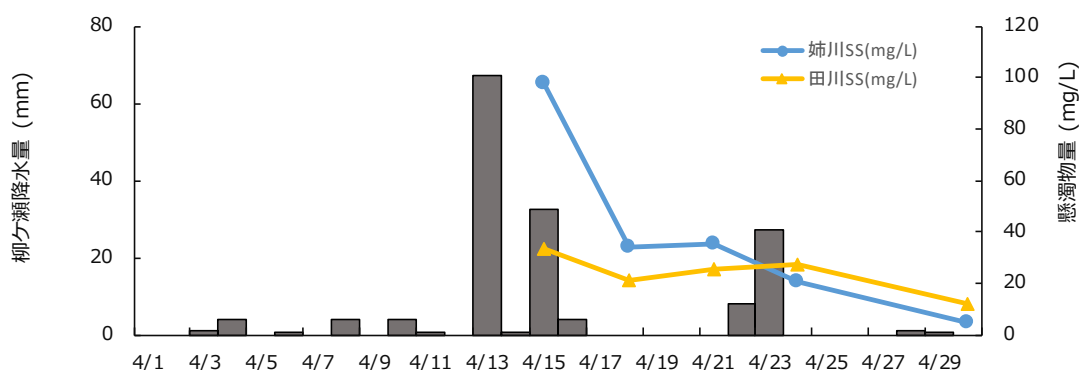
令和8年2月10日
水産試験場

【今年度の調査】※調査地点は従前どおり姉川ヤナ下と田川カルバート下。

これまでの当場の調査結果から、柳ヶ瀬での日降水量が 40mm を超えると強い濁りが発生するものと考えられた。今年度は、柳ヶ瀬での日降水量が 40mm を超えた日を基準に調査を開始し、濁りが収まったと判断できる時点(透視度 50cm 以上)まで数日おきに調査した。

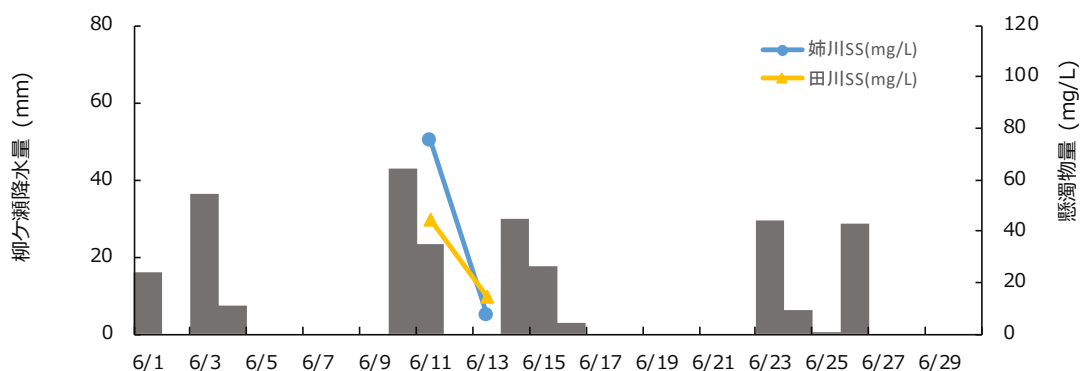
【測定項目】：透視度、懸濁物量(SS) ※今回は SS のみ掲載。

【結果】4 月分



日降水量 40mm を超えた日：4 月 13 日、調査開始日：4 月 15 日、調査終了日：4 月 30 日

6 月分



日降水量 40mm を超えた日：6 月 10 日、調査開始日：6 月 11 日、調査終了日：6 月 13 日

【考察】

4 月については、18 日以降懸濁物量が減少するペースが鈍っているが、これは代掻き水等の影響もあると思われる。一方 6 月については、降水による強い濁りは速やかに収束した。なお、昨年度は 4 月から 7 月にかけて 40 mm 超の降水が 7 回あったが、今年度はこの 2 回のみであった。